



淑徳大学大学院

総合福祉研究科 2017

社会福祉学専攻 博士前期課程／博士後期課程

心理学専攻 修士課程

社会福祉・心理臨床などさまざまな実践現場を担う
専門職業人の養成、研究者・教育者の養成

総合福祉研究科の教育・目的

建学の理念、大学院の目的・教育方針、
総合福祉研究科の教育研究と人材養成の目的

淑徳大学の目的と建学の理念

淑徳大学は、昭和40（1965）年の開学以来「大乘仏教の精神に基づき、社会福祉の増進と教育とによる人間開発、社会開発に貢献する人材の育成」を目的としています（淑徳大学学則第1条）。

学祖・長谷川良信は、社会福祉のありかたを、「for him(彼のために)ではなく、together with him(彼と共に)でなければならない」とし、これは淑徳大学の福祉教育の理念に据えました。

淑徳大学の共生の思想の原点は、社会福祉の教育とその実践のなかに置かれています。「福祉」とは人びとが「幸福であること」、社会福祉とは社会的な手段や方法による「福祉」の実現という意味です。



学祖：長谷川良信 先生

大学院の目的、教育方針

本学の大学院教育は、この建学の精神を基に平成元年（1989年）開設の社会福祉学研究科として始まり、「深奥なる学術の理論及び応用を研究教授し、また研究能力を養い、もって人類の文化と福祉の増進に貢献すること」を目的（大学院学則第1条第1項）とし、次の教育方針を定めています（大学院学則第1条第3項）。

- 一、人類福祉の増進と、理想的な人間社会の実現に資する人材を育成する
- 二、高度な学術研究と教育を通して、深い人間的な自覚の上に立ち、広い教養と専門的知識、技能を身につけた、志を同じくする後継者を育成する

総合福祉研究科の教育研究と人材養成の目的

総合福祉研究科においては、建学の原点である社会福祉について、これを現代的視野から多角的・複眼的に解明して、宗教および教育との三位一体としての総合的福祉の実現をめざします。

また、総合的福祉に関する将来の実践や教育・研究活動に、高い理想と広い視野、そして深い洞察を備えて携わり、通底する基盤である人とひと、人と社会との関係におけるその総合福祉の高度の実現に寄与しうる人材を養成（淑徳大学大学院の教育研究に関する規則第2条第1項第一号）します。

学術研究活動の振興と助成

・学術研究活動の振興を企図し、学位（修士・博士）論文作成の支援「研究助成制度」の他、論文の投稿や発表（公開）支援に取り組んでいます。

○研究助成制度（本学）

- ・院生研究費助成（博士後期課程の学生対象）：50万円を上限（年額・在籍中3回）とする研究・調査経費補助
- ・学会発表の研究助成（前期・修士課程の学生対象）：10万円を上限（年額）とする学会発表のための参加費・旅費の補助

○学術成果の発表機会の提供、研究資料の充実・整備等

- ・研究科研究紀要、心理臨床研究、社会福祉研究所紀要など本学及び学外学会（学術研究団体）への論文投稿、発表会の開催
- ・研究資料の整備・充実（院生共同研究室への別置資料）
- ・共同研究室の情報・研究設備の整備、コピーカード配布 など

奨学金制度（本学）

- 給付奨学金
 - 特別給付奨学金：授業料相当額を給付
 - 一般給付奨学金：授業料の半額（もしくは1/4）を限度に給付
 - 留学生給付奨学金：給付額は、特別・一般給付奨学金と同様
- 貸与奨学金
 - 授業料の1/2を限度に貸与（修了後、10年間で償還・無利息）
- 緊急貸付金制度（短期の緊急事由：5万円限度）

奨学金・研究助成団体（外部資金）

- 日本学生支援機構奨学金（第1種無利息・第2種有利子）や都道府県、区市町村、民間奨学団体等からの奨学金
- 学術研究助成団体等からの研究費

※ 奨学金や学術助成団体からの応募奨費やその支援

総合福祉研究科 入試情報

■社会福祉学専攻 博士前期・後期課程

募集人員	入試（選抜対象）区分		出願期間	試験日	合格発表	入学手続	備考
博士前期課程【15名】 （含社会人AO他）	第1回	特別選抜、一般、社会人、外国人留学生	10/7~10/14	10/23	10/24	10/31~11/7	特別選抜は、前期課程のみ
	第2回	特別選抜、一般、社会人、外国人留学生	1/20~1/27	2/5	2/6	2/10~2/17	
博士後期課程【5名】	一般、社会人、外国人留学生		1/18~1/23	2/5	2/6	2/10~2/17	

■社会人AO入試、指定法人推薦入試（博士前期課程のみ）

	エントリー		事前面接		出願期間	試験日	合格発表	入学手続	備考
	書類提出	面接期間	書類提出	面接					
第1回	10/21~10/28	11/4~11/6	11/9~11/11	11/13	11/22~11/30	12/4	12/5	12/9~12/16	指定法人推薦入試は、事前面接から実施
第2回	1/16~1/25	2/3~2/5	2/10~2/16	2/19	2/23~2/27	3/4	3/6	3/10~3/17	

■選抜方法・試験科目等

専攻・課程	入試（選抜対象）区分	試験科目等	備考
社会福祉学専攻 博士前期課程	特別選抜	学部成績、研究計画書、面接	内進選抜制度
	一般	英語、社会福祉学、研究計画書・面接	
	社会人	社会福祉学、研究計画書・実践記録書等、面接	
	外国人留学生	社会福祉学、小論文、研究計画書・面接	
社会福祉学専攻 博士後期課程	社会人AO入試	研究計画書、実践記録書等、小論文、面接	含む指定法人推薦
	一般	修士論文、英語、研究計画書等書類・面接	
	社会人	修士論文、英語又は小論文、研究計画書等書類・面接	
	外国人留学生	修士論文、英語、研究計画書等書類・面接	

- 小論文：多面的な問題把握能力、社会福祉学分野における基礎的理解力、論文構成力、表現力等
- 英語：英文和訳・読解 英和辞書1冊使用可（電子辞書不可）
- 社会福祉学：社会福祉学分野（隣接領域を含む）の制度・動向、思想、価値・倫理および学術研究用語の理解
- 面接：志望動機、修学環境、社会福祉専門職ならびに研究者としての基礎的資質など
- 研究計画書：研究動機に即した研究計画の構成力、研究実行の基礎的能力等
- 実践記録書等：社会福祉学分野または関連分野（医療・保健・教育など）における研究・教育業績、社会的活動の実績等

■心理学専攻 修士課程

募集人員	入試（選抜対象）区分		出願期間	試験日	合格発表	入学手続	備考
5名程度	特別選抜		8/23~8/26	9/1	9/2	9/5~9/14	
5名程度	第1回	一般、社会人、外国人留学生	10/7~10/14	10/23	10/24	10/31~11/7	
5名程度	第2回	一般、社会人、外国人留学生	1/20~1/27	2/5	2/6	2/10~2/17	

※募集人員15名のうち、臨床心理学領域12名、社会・発達心理学領域3名

■選抜方法・試験科目等

専攻・課程	入試（選抜対象）区分	試験科目等	備考
心理学専攻 修士課程	特別選抜	小論文、研究計画書等書類、集団面接、個人面接	内進選抜制度
	一般	英語、心理学、研究計画書等、個人面接	
	社会人	英語、心理学、研究計画書等、個人面接、社会人・留学経験・業績報聘	英語は客観のみ
	外国人留学生	英語、心理学、研究計画書等、個人面接、社会人・留学経験・業績報聘	英語は客観のみ

- 小論文：多面的な問題把握能力、心理的現象についての基礎的理解力、論文構成力、表現力等
- 英語：語法・語彙、英文和訳 英和辞書1冊使用可（電子辞書不可）
- 心理学：基礎心理学、心理学方法論、臨床心理学／発達心理学・社会心理学
- 面接：志望動機、修学環境、臨床家ならびに研究者としての基礎的資質など（集団面接：状況即応能力、協調性および独自性等）
- 研究計画書：研究動機に即した研究計画の構成力、研究実行の基礎的能力等

社会福祉学専攻

博士前期・後期課程

さまざまな現場で活躍している社会福祉専門職の実践力を高めるために、臨床実践と結びつく専門教育を行います。

博士前期課程

…… 実践現場を担う社会福祉関係分野での専門的職業人の養成

博士後期課程

…… 社会福祉分野などでの研究者・教育者の養成

社会福祉学専攻の特色

博士前期課程

- ソーシャルワーク専門職の能力開発・向上、スーパーバイザーの養成、福祉社会の構築に資する人材の養成
- 相談援助を行う所属組織を中心とした「高齢、障害、児童・家庭、医療」分野における福祉課題に対し、倫理綱領に基づき高度な専門知識と熟練した技術を用いて個別支援、他職種連携及び地域福祉の増進を行うことができる能力（認定社会福祉士認証・認定機構の認定社会福祉士）の養成

博士前期課程の教育課程

基礎科目①	社会福祉学原論、ソーシャルワーク基礎理論、社会福祉政策論、仏教社会福祉論、ソーシャルワーク実践理論
基幹科目②	臨床社会福祉学研究、臨床ソーシャルワーク研究、社会福祉政策研究、仏教社会福祉研究、スーパービジョン論、ソーシャルワーク実習指導論、ソーシャルワーク演習指導論、福祉サービス管理経営論、権利擁護法制論、社会病理論、家族システム論
研究方法科目③	社会福祉実践研究方法論、地域福祉調査方法論、質的調査の方法と実際、量的調査の方法と実際、統計処理の方法と実際、社会統計解析の方法と実際
展開科目④	高齢者福祉研究、高齢者ケアマネジメント論、高齢者施設ソーシャルワーク、高齢者虐待ソーシャルワーク、成年後見制度、地域包括ケアシステム論、障害者福祉研究、障害者福祉ソーシャルワーク、子ども家庭福祉研究、子ども家庭福祉ソーシャルワーク、保育学理論、保育学研究、保健医療福祉研究、保健医療ソーシャルワーク、地域福祉研究、地域支援ソーシャルワーク、低所得者自立支援ソーシャルワーク、災害ソーシャルワーク
研究指導演習科目⑤	社会福祉学研究指導演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ（必修）
学位：修士（社会福祉学）	課程修了には、2年以上在学し、研究指導演習Ⅰ～Ⅳを含め指導教員担当科目6単位以上、①から4単位以上、②から8単位以上、③から2単位以上、④から12単位以上（社会福祉学以外の専門分野若しくは領域の課程修了者は、基礎科目の指定科目から6単位以上を含めて）合わせて30単位（特定課題研究レポートを選択の場合は、合計32単位）以上を修得し、かつ必要な研究指導を受け、論文を提出して学位論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。

認定社会福祉士

相談援助を行う所属組織を中心とした「高齢、障害、児童・家庭、医療」分野における福祉課題に対し、倫理綱領に基づき高度な専門知識と熟練した技術を用いて個別支援、他職種連携及び地域福祉の増進を行うことができる能力（認定社会福祉士認証・認定機構の認定社会福祉士）の養成

専門社会調査士資格

福祉社会の構築には、日常生活において解明・解決すべき諸課題の抽出が不可欠です。「社会調査士資格」を有し、所定の単位を修得することにより、ソーシャルリサーチ能力を証明する「専門社会調査士」の取得が可能

社会福祉学専攻課程協議会

社会福祉系大学院間の委託聴講生及び学術的提携や交流を促進すべく社会福祉学専攻課程協議会に加盟（上智大学・明治学院大学・日本女子大学・東洋大学・日本社会事業大学・大正大学・立正大学・ルーテル学院大学・関東学院大学・立教大学・法政大学・淑徳大学の12大学で構成）しています。

博士後期課程

社会福祉分野及び関連分野などでの研究者・教育者の養成

基幹科目	臨床社会福祉学特論 臨床ソーシャルワーク特論 社会福祉政策特論 仏教社会福祉特論
研究指導科目	研究指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ（必修）
学位：博士（社会福祉学）	課程修了には、3年以上在学し、「研究指導Ⅰ～Ⅵ」12単位（社会福祉学以外の専門分野若しくは領域の修士課程修了者は、基幹科目から2科目4単位、合わせて16単位以上）修得し、かつ必要な研究指導を受け、博士候補認定試験制度に合格した後、（課程）博士の学位申請論文を提出して学位論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。

教育研究目標

博士前期課程

実学としての社会福祉学およびその関連領域に関する研究をもとに、共生社会の実現に資する高い専門性を備えた社会福祉専門職者を養成することを教育研究目標とする。

博士後期課程

実学としての社会福祉学およびその関連領域に関する研究をもとに、社会福祉学の高度な研究能力を備えた人材の育成、より高度な社会福祉専門職者としての能力の育成を教育研究目標とする。

進路

博士前期課程：社会福祉関係施設・機関、病院・各種団体等における専門職、社会福祉系専門教育機関における教育職として、専門性の向上、職場教育、経営・管理などにおいてリーダーシップを発揮できる存在として活躍、大学院博士後期課程への進学。

博士後期課程：専門分野の研究者、高等教育機関の教育者など。

社会福祉学専攻 博士前期課程 履修モデル

	1年次（前期）		1年次（後期）		2年次（前期）		2年次（後期）	
高齢分野 30単位	① 社会福祉学原論 ② スーパービジョン論 権利擁護法制論	2 1 2	2 ソーシャルワーク基礎理論 1 ソーシャルワーク実習指導論 福祉サービス管理経営論 1 社会福祉実践研究方法論 1 地域福祉調査方法論	2 1 1 1	2 社会福祉政策論 2 社会病理論	2 家族システム論	1	
	④ 高齢者福祉研究 高齢者虐待ソーシャルワーク 低所得者自立支援ソーシャルワーク ⑤ 社会福祉学研究指導演習Ⅰ	2 2 1 1	1 高齢者施設ソーシャルワーク 2 成年後見制度 1 災害ソーシャルワーク 1 社会福祉学研究指導演習Ⅱ	1 2 1 1	1 高齢者ケアマネジメント論 1 地域包括ケアシステム論 1 社会福祉学研究指導演習Ⅲ	1 地域支援ソーシャルワーク 1 地域福祉研究	1 2	1 社会福祉学研究指導演習Ⅳ 1
障害分野 30単位	① 社会福祉学原論 権利擁護法制論	2 2	2 ソーシャルワーク実践理論 2 ソーシャルワーク実習指導論 1 社会福祉実践研究方法論 1 地域福祉調査方法論	2 1 1 1	2 社会福祉政策論 1 スーパービジョン論 2 社会病理論	2 仏教社会福祉研究	2	
	④ 高齢者虐待ソーシャルワーク 障害者福祉研究 保健医療福祉研究 ⑤ 社会福祉学研究指導演習Ⅰ	2 2 2 1	2 障害者施設ソーシャルワーク 2 保健医療ソーシャルワーク 2 地域支援ソーシャルワーク 1 社会福祉学研究指導演習Ⅱ	2 2 1 1	1 低所得者自立支援ソーシャルワーク 1 社会福祉学研究指導演習Ⅲ	1 地域福祉研究	2	1 社会福祉学研究指導演習Ⅳ 1
児童家庭 分野 30単位	① 社会福祉学原論 仏教社会福祉論 権利擁護法制論	2 2 2	1 ソーシャルワーク実習指導論 1 家族システム論 1 社会福祉実践研究方法論 1 地域福祉調査方法論	1 1 1 1	1 社会病理論	2 臨床ソーシャルワーク研究	2	
	④ 子ども家庭福祉研究 保育学理論 ⑤ 社会福祉学研究指導演習Ⅰ	2 2 1	2 子ども家庭福祉ソーシャルワーク 2 保健医療ソーシャルワーク 1 地域支援ソーシャルワーク 1 災害ソーシャルワーク 1 社会福祉学研究指導演習Ⅱ	2 2 1 1 1	1 社会福祉学研究指導演習Ⅲ	1 地域福祉研究	2	1 社会福祉学研究指導演習Ⅳ 1
ソーシャル ワーク 32単位	① 社会福祉学原論 仏教社会福祉論	2 2	2 ソーシャルワーク実践理論 臨床社会福祉学研究 1 仏教福祉研究	2 2 2	2 社会福祉政策論 2 社会病理論	2 臨床ソーシャルワーク研究	2	
	③ 統計処理の方法と実際 ④ 高齢者福祉研究 障害者福祉研究 ⑤ 社会福祉学研究指導演習Ⅰ	2 2 2 1	2 子ども家庭福祉ソーシャルワーク 2 保健医療ソーシャルワーク 1 地域支援ソーシャルワーク 1 災害ソーシャルワーク 1 社会福祉学研究指導演習Ⅱ	2 2 1 1 1	1 社会福祉学研究指導演習Ⅲ	1 地域福祉研究	2	1 社会福祉学研究指導演習Ⅳ 1
保健医療 分野 32単位	① 社会福祉学原論 ソーシャルワーク基礎理論 社会福祉政策論	2 2 2	2 臨床ソーシャルワーク研究 1 仏教福祉研究 量的調査の方法と実際	2 2 2	2 権利擁護法制論	2 臨床社会福祉学研究	2	
	④ 保健医療福祉研究 障害者福祉研究 ⑤ 社会福祉学研究指導演習Ⅰ	2 2 1	2 子ども家庭福祉ソーシャルワーク 2 保健医療ソーシャルワーク 1 社会福祉学研究指導演習Ⅱ	2 2 1	1 社会福祉学研究指導演習Ⅲ	1 地域福祉研究	2	1 社会福祉学研究指導演習Ⅳ 1

●ソーシャルワークの理論と実務を結び付け、個人・地域・組織の理解に基づく実践及び研究能力を養うモデル

●相談援助を行う所属組織を中心とした「高齢、障害、児童・家庭、保健医療」分野における福祉課題に対し、高度な専門知識と熟練した技術を用いて個別支援、他職種連携及び地域福祉の増進を行うことができる能力を養うモデル

社会福祉学専攻 博士後期課程

●研究テーマ（課題）について、指導教員の研究指導を受け、内外の学術研究論文等の投稿、博士の学位論文の作成・完成をめざし、博士（社会福祉学）の学位取得と社会福祉分野及び関連分野で活躍しうる研究者・教育者の養成

心理学専攻

修士課程

「心の問題」を解決し、よりよい福祉社会の構築に貢献

発達・社会心理学領域

臨床心理学領域

心理学専攻の 特色

心理学専攻では、2つの領域で2種類の資格をもって活躍する心理専門職、発達・社会心理学の研究分野に特化したより高度な具体的知識を生成するための専門的研究者を養成

発達・社会心理学領域

- 発達の存在としての人間に多面的な視点から迫る専門教育、また心理学の歴史や方法論の展開を視野に入れつつ人間関係の具体的なとらえ方を学んで、人間のあり方に関する洞察を深める専門教育
- 本学附属発達臨床研究センターをはじめとする発達上の問題をかかえる人のアセスメントと支援に必要な高い実践力を有する臨床発達心理士を養成

臨床発達心理士資格 (社) 臨床発達心理士認定運営機構の臨床発達心理士を養成

臨床心理学領域

- 心理的問題とその背景・展望に関するアセスメント力を有し、クライアントとともに在って確実に支え、地域との連携に活躍するような臨床能力を身につけさせる専門教育
- 附属心理臨床センターにおける臨床心理実習、契約実習施設での配属実習等によって、心理臨床現場における統合的な実践力を養う

臨床心理士資格 (財) 日本臨床心理士資格認定協会の第1種指定大学院として「ともに在る」ことのできる臨床心理士を養成

修士課程の教育課程 (平成26年度以降入学生適用)

	発達・社会心理学領域	臨床心理学領域
基礎科目①	社会福祉学原論 精神医学特論 精神科診断治療学特論	社会心理学特論 社会病理論 臨床心理関連行政論
研究方法科目②	心理学研究法特論Ⅰ 心理学研究法特論Ⅱ 心理学統計法	
展開科目③	臨床発達心理学特論Ⅰ・Ⅱ 認知発達とその支援Ⅰ・Ⅱ 社会・情動の発達とその支援Ⅰ・Ⅱ 言語発達とその支援Ⅰ・Ⅱ 育児・保育現場での発達とその支援Ⅰ・Ⅱ 女性発達心理学特論 高齢者心理学特論 コミュニケーション心理学特論 犯罪心理学特論 集団力学特論	臨床心理学特論Ⅰ・Ⅱ 臨床心理面接特論Ⅰ・Ⅱ 行動療法特論 家族療法特論 臨床心理地域援助特論
実践科目④	臨床発達査定法演習 発達査定事例演習 子ども発達事例演習 発達障害支援事例演習	臨床心理査定演習Ⅰ・Ⅱ 投映法特論 事例研究演習
専門職実習科目⑤	臨床発達障害児実習Ⅰ・Ⅱ 臨床発達心理実習Ⅰ・Ⅱ	臨床心理基礎実習Ⅰ・Ⅱ 臨床心理実習 臨床心理配属実習Ⅰ・Ⅱ
研究指導演習科目⑥	心理学研究指導演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ (必修)	
学位：修士 (心理学)	課程修了には、2年以上在学し、授業科目を30単位 (内、実習科目を除く研究指導演習Ⅰ～Ⅳを含め指導教員担当科目6単位以上、①から2単位、②から4単位、専攻領域配置科目から12単位、計18単位以上) 以上修得し、かつ必要な研究指導を受け、修士論文を提出して学位論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。	

教育研究目標

発達心理学、対人心理学、臨床心理学等の心理学に関する専門的な知識をもとに、社会的・学問的要請に応じた研究を実践していくとともに、これらを基盤として、共生社会実現に資する実践的な運用力を持った心理専門職者を養成することを教育研究目標とする。

進路

心理学専攻 (修士課程) 修了後は、精神科病院などでの臨床心理士、教育機関におけるカウンセラー、社会福祉関係の諸施設や民間企業における心理専門職、児童相談所や家庭裁判所調査官などの各種公務員、心理学の専門的な知識や技能を必要とする分野、大学院博士後期課程への進学など

社会福祉学専攻 博士前期課程 履修モデル

	1年次 (前期)		1年次 (後期)		2年次 (前期)		2年次 (後期)	
発達心理学研究	① 精神医学特論 ② 心理学研究法特論Ⅰ 心理学統計法 ③ 女性発達心理学特論 ⑥ 心理学研究指導演習Ⅰ	2 2 2 2 1	社会心理学特論 心理学研究法特論Ⅱ 集団力学特論 臨床発達心理学特論Ⅰ 心理学研究指導演習Ⅱ	2 2 2 2 1	社会福祉学原論 犯罪心理学特論 子ども発達事例演習 心理学研究指導演習Ⅲ	2 2 2 1	高齢者心理学特論 コミュニケーション心理学特論 心理学研究指導演習Ⅳ	2 2 1
社会心理学研究	① 精神医学特論 ② 心理学研究法特論Ⅰ 心理学統計法 ③ 社会・情動の発達とその支援Ⅰ ⑥ 心理学研究指導演習Ⅰ	2 2 2 2 1	社会心理学特論 心理学研究法特論Ⅱ コミュニケーション心理学特論 集団力学特論 心理学研究指導演習Ⅱ	2 2 2 2 1	社会福祉学原論 社会病理論 犯罪心理学特論 心理学研究指導演習Ⅲ	2 2 2 1	精神科診断治療学特論又は 臨床心理関連行政論から選択 社会・情動の発達とその支援Ⅱ 心理学研究指導演習Ⅳ	2 2 2 1
社会心理学研究	① 心理学研究法特論Ⅰ ② 臨床発達心理学特論Ⅰ ③ 認知心理学とその支援Ⅰ ④ 社会・情動の発達とその支援Ⅰ ⑤ 言語発達とその支援Ⅰ ⑥ 臨床発達障害児実習Ⅰ ⑦ 心理学研究指導演習Ⅰ	2 2 2 2 2 1 1	臨床発達心理学特論Ⅱ 認知発達とその支援Ⅱ 社会・情動の発達とその支援Ⅱ 育児・保育現場での発達とその支援 臨床発達査定法演習 臨床発達障害児実習Ⅱ 心理学研究指導演習Ⅱ	2 2 2 2 2 1 1	精神医学特論 心理学統計法 言語発達とその支援Ⅱ 育児・保育現場での発達とその支援 心理学研究指導演習Ⅲ	2 2 2 2 1	発達障害支援事例演習 心理学研究指導演習Ⅳ	2 2 1
臨床心理士資格取得	① 精神医学特論 精神科診断治療学特論 ② 心理学研究法特論Ⅰ ③ 臨床心理面接特論Ⅰ ④ 臨床心理査定演習Ⅰ ⑤ 臨床心理基礎実習Ⅰ ⑥ 心理学研究指導演習Ⅰ	2 2 2 2 2 1 1	臨床心理学特論Ⅰ 行動療法特論 又は家族療法特論 臨床心理査定演習Ⅱ 臨床心理基礎実習Ⅱ 心理学研究指導演習Ⅱ	2 2 2 2 1 1 1	社会病理論 又は 臨床心理関連行政論 心理学統計法 臨床発達心理学特論Ⅱ 臨床心理面接特論Ⅱ 臨床心理実習 (通年) 心理学研究指導演習Ⅲ	2 2 2 2 2 1	臨床心理学特論Ⅱ 臨床心理実習 (通年) 心理学研究指導演習Ⅳ	2 2 1

- 発達心理学又は社会心理学の研究分野に特化したより高度な具体的知識を生成するための専門的研究法の修得を目指すモデル
- 「臨床発達心理士」の資格取得と、専門職業人として対象者のアセスメントと支援のために必要な実践力を養うモデル
- 「臨床心理士」の資格取得と、クライアントとともに在り、確実に支えていくことができる臨床能力を身につけるモデル

専門職実習の主な実習先 (例)

臨床発達心理士資格		臨床心理士資格	
学内	: 発達臨床研究センター	学内	: 心理臨床センター
学外 (契約実習施設)	: 発達障害関係機関 (研究所、相談室)、 特別支援学校、保育園	学外 (契約実習施設)	: 精神科病院・総合病院、公立中学校、 県立教育相談機関、児童養護施設、乳児院、 特別養護老人ホーム